

Town Topics

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み

情報課広報広聴係

TEL 23-3069

音楽で盛り上がった夏至祭

(6月19日)



今年の夏至祭は、弁華別中学校吹奏楽部のリコーダー演奏でスタートし、吹奏楽コンサートとカフェテリアで賑わいました。

また、前夜祭のジャズコンサートのために11年ぶりに当別を訪れたジャズシンガーケイコ&ホーカン夫妻も飛び入りで歌を披露し、会場を盛り上げました。

メインイベントの10mもあるマイストングの立ち上げは、スウェーデンから東海大学に留学している6人の大学生も参加して「オー」「ヘイ」の掛け声と共に会場一体となって行われました。

立ち上がったマイストングを囲んで、スウェーデン風の民族衣装を着た町民やスウェーデンからの留学生などが参加してバイオリンやアコーディオンの演奏でフォークダンスを楽しみました。



夏至祭⇔アウル⇔九十九祭

町民と学生がイベントを通して触れ合おうと同日に開催された夏至祭と九十九祭がまちの駅「アウル」で結ばれました。

アウル会場は夏至祭と九十九祭の中継点として、両会場行きの臨時のバス停が登場し、2つの祭り会場を結びました。



学生の力が集結 医療大学九十九祭

(6月18・19日)

元気な医療大学生たちの手で「第27回九十九祭」が開催されました。

校舎内では、歯磨きの指導をするブラッシングハウスなど、各サークルの展示発表やクイズ大会が開かれたほか、体育館では「B-DASH」のスペシャルライブが行われ、学生たちはテレビやラジオなどで活躍しているバンドのライブで大いに盛り上がっていました。



校舎の外に出ると、露店コーナーのテントで焼きそば、たこ焼きなどを料理しながら元気な声で販売する学生の姿やよさこいの演舞、軽音楽の演奏で盛り上がる学生の姿があり、大学の構内は若い活気に溢れていました。

森林ボランティアで森づくりを

(6月5日)



森づくりに積極的に取り組んでいこうと、当別森林ボランティア「シラカンバ」の設立総会が開かれました。「石狩森づくりセンター」が3年間行っていた森に関する研修事業に参加していたメンバーが中心となり、習得した知識や技術を使って町有林や道民の森で下草刈りや除間伐を行うなど、良質の木が育つ環境づくりに取り組んでいく予定です。

総会で会長に選任された福井直之さんは「町民の協力もいただきながら当別の気候・風土に根ざした森づくりを楽しみながら取り組んでいきたい」とこれからの活動の抱負を語っていました。

苗木植樹で森づくりを

(6月9日・11日)



6月9日に北海道議会議員で構成する「森林・林業活性化推進議員連盟」が森林づくりを進めるため、道民の森青山中央地区で植樹の集いを行いました。

参加議員は、昨年植樹した木の成長ぶりなどを気にしながら、隣接の場所にアカエゾマツやナナカマドなどを町議会議員とともに、丁寧に植え付けていました。

昼食に振る舞った商工会女性部のいもだんご汁もとても好評で、当別のPRに一役買っていました。

また、11日には当別ダム植樹の会が開かれ、町内外の親子連れなどが、カミネッコ(紙のポット)を使った植樹に挑戦していました。

元コンサドーレ選手と楽しくサッカー

(6月14日)



当別幼稚園で北海道サッカー協会の主催により、元コンサドーレ選手の木島敦さんを迎えてサッカー教室が開かれました。

園児たちは、木島コーチの指導で楽しみながらドリブルなどの練習をこなし、どの子もみんな上手にサッカーボールで遊べるようになりました。

サッカー教室を終えた園児たちは「コーチに教えてもらいながらみんなでサッカーができて楽しかった」と満足そうでした。

善意に感謝「緑の募金運動」

(6月10日)



例年春に行われる「緑の募金運動」が6月10日で終了しました。本町は、昨年の募金額が道内で2番目に多く、町民の緑化に対する意識の高さが伺われます。

今年も、緑を守り育てる活動を行っている緑の少年団(弁華別小、中学校)や西当別中学生が街頭に立ち募金を呼びかけたほか、町内会や企業などから支援をいただき、約160万円が集まりました。

今年の募金は、あそ公園や東裏小学校などの植樹に役立てられました。